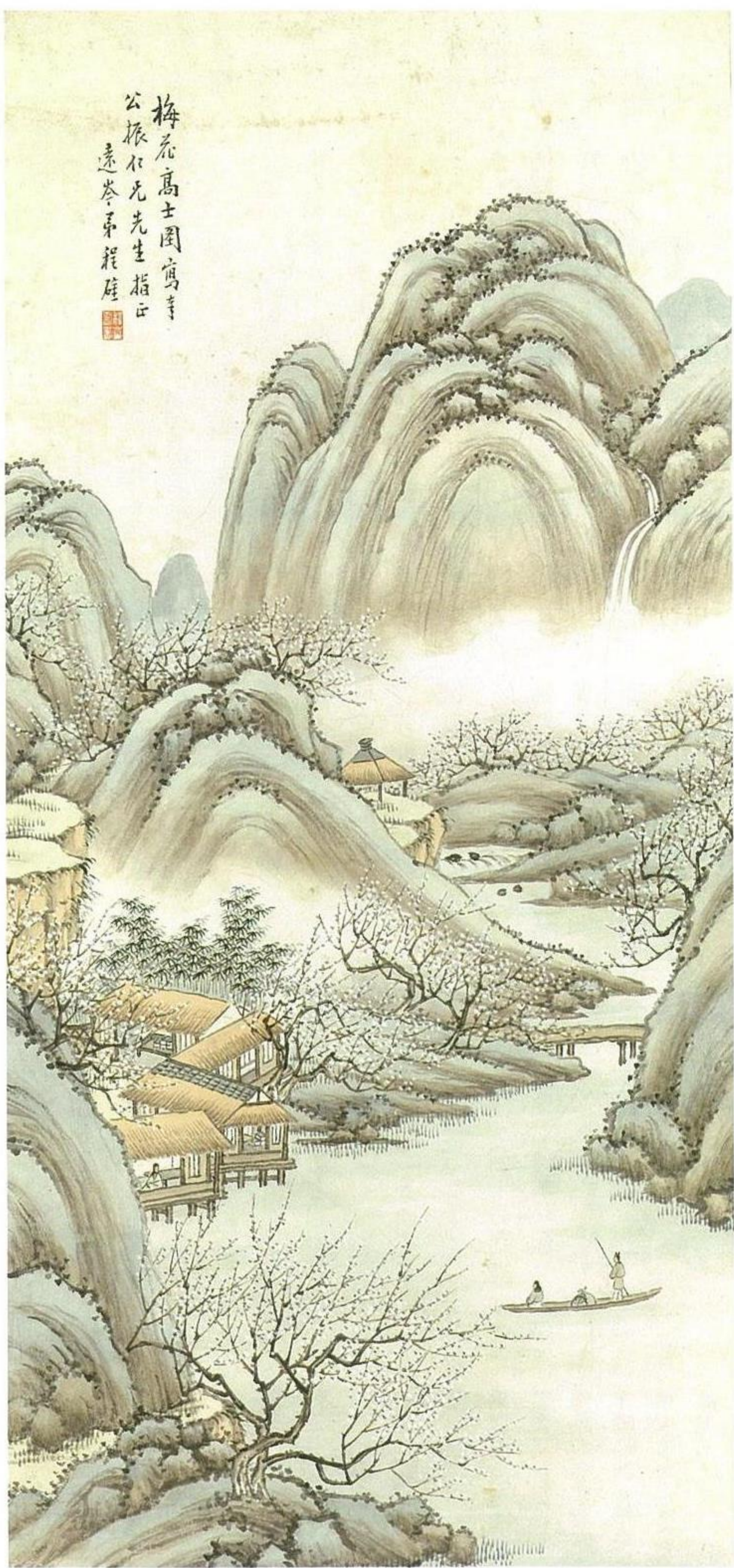


梅花高士図

制作年未詳
七二・〇cm × 三三・三cm



梅花高士図高士
公振仁先生指正
遠岑弟程硯

梅花高士図寫奉
公振仁先生指正
遠岑弟程硯



〔款記釈文〕
梅花高士図 写奉
公振仁先生指正
遠岑弟程硯



〔程峯書画〕
(白文長方印) 1.3cm × 0.9cm

「高士」とは、高踏的知識人である文人を意味する。彼らは、俗塵を避けて山野に隠遁することを希求した。本作は、その理想的生活環境を具象化したもので、文人の気高さを象徴する梅と竹に囲まれた草廬に住み、気の合う友が舟を浮かべて訪ねて来ようとする情景を描いている。5・19頁の「梅花高士図」も同じテーマの作品で、山水の表現や、植物・建物・人物の描き方が特徴的である。

